



宮崎大学マガジン

【特集】 留学した先輩にインタビュー



Study abroad

Myaoh.TV

X線分光撮像衛星 XRISM

Topics&Information

留学を通して“人脈”が広がった！

その一歩で、キミの世界が変わるー！

留学して先輩がインターン



「トビタテ」留学JAPAN日本代表プログラム

2014年から文部科学省がスタートさせた官民協働で取り組む海外留学支援制度



まず、どのように留学を決めたのですか？

酒井拓也さん(以下敬称略、酒井) 大学に入ったら留学するぞ！と思って入学しました。僕の場合5年生から6年生に進級する前の1年間、ここしかなかったですね。でも結果として、この時期だったから自分の勉強したいことが明確になっていったことは良かったです。精神科医を目指す僕にとって、日本の現場で働く前に日本以外の国の精神科医療現場の実情を知っておくことは意味があるなと思ったんです。その分野の先進地といわれるイタリアのトリエステで1年間現場に身を置くことで、評判だけじゃない実情を知ることができました。

伊良知正太郎さん(以下敬称略、伊良知) 両親はたまに海外旅行に出掛けるし、姉も留学経験があり、僕にとって海外は割と身近でした。大学に入ってから夏休みに行った南米を皮切りに、4年間の学部時代で行った国は25カ国で、修士2年の今はすでに30カ国を超えました。先生に留学の相談をしたのは学部1年の冬です。「修士課程に進むなら、研究テーマが定まってい

留学の目的が何かで、変わってきそうですね。まずは目的を明確にすべきと。

伊良知 そこが一番大事。僕らが申し込んだ「トビタテ」留学JAPANは語学習得を目的にすることはできません。何か実践活動計画を入れる必要があって、目的がなければ実践活動なんてできません。審査段階ではそこを一番のポイントに見られていると思いますよ。

留学先の、同年代の人たちの印象は？

伊良知 海外の人たちは同年代でもしつかり自己主張するのが当たり前でした。ゲームしながらケンカになるほど(笑)。日本人は「分かるよね？」って感じてニュアンスで伝えることがよくあるけれど、曖昧な言い方をしたら「どういこと？」って必ず聞き返される。僕も自分の意見ははっきりと伝えるよう心がけていますね。

酒井 自己主張の話で言えば、イタリアでは「デモ」という意思表示の場が日常的にあることに驚きましたね。ある休日に友人から「デモに行こうよ」と誘われて、え？って思ったけど行って行ってみたら想像と全く違っていて、旗を振りながらお祭りみたいな雰囲気でした。政府への抗議やLGBTの意見など内容もさまざまで、小さな子どもまでいて。あつちのデモって敷居が低いというか、こんな意見表明の場があっても悪くないなあって思いました。

坂口 自分がやることとすることを話すこと、それ、いいね！って肯定的に促して応援してくれる人が多かったです。だからやる気が湧いて、ミャンマーでの1カ月なんて、やることはやり尽くしたぞ！って言えるくらい充実した日々が送れました。

から留学をその研究に当てた方がいい」とアドバイスされました。実際、留学する頃には自分の研究が進み事業化するプランもできつつあったので、学内のビジネスコンテストで発表もしました。さらに発展させるためには科学的根拠が必要だなと思って、その分野で権威のあるアメリカの先生のもとに研究留学をしました。先生が紹介状を書いてくれたおかげです。

坂口祐哉さん(以下敬称略、坂口) 伊良知さんとは逆に、僕は両親に「海外は危険で怖い」というイメージを植え付けられて育ちました(笑)。だから、海外に興味はあったけれど、なかなか一歩が踏み出せなくて。そこでまず、台湾へ3週間の短期留学にチャレンジしました。これが想像以上にいい経験ができて、「海外で学べることは大きいんだな」と感じるようになりました。自分の進路を就職か進学か迷った時に、どっちに進んだとしても留学は絶対プラスになる！と考え、自分がずっと関わってきた野球を武器に留学プランを立てました。

留学前に言語の不安はなかったですか？

坂口 僕とはとにかく行きたい気持ちが強く、英語も話せないままでしたが、現地でする中国語の学校に行きました。学校のみんなは普通に英語で会話していたので、英語はある程度話せた方がいいかなと思えました。

留学して得られた一番の収穫は？

酒井 僕は1年間イタリアの精神科医療の現場を直に見て、先進地域と評価されながらも課題があり、日本と同じような側面を持っていることを知りました。どっちが素晴らしいとか一概に言えることではないと思います。偏らない視点で物事を見て、どんな情報も鵜呑みにはしないメンタリティーを身につけることができたと、僕が一番の収穫ですね。

伊良知 僕は何よりも「人脈」です。アメリカで師事した先生がとも著名な方だったので、その先生のとこに留学すると話すと、どこに行っても歓迎してもらえました。先生の紹介でなければつながらないような方たちと知り合え、今もそのつながりが広がっています。昨年10月にMIT(マサチューセッツ工科大学)の講義棟で開催されたポストン日本人研究者交流会で「魚類の進化と適応戦略」と題して45分の講演をしました。これもさまざまな人脈から生まれた貴重な機会、人脈がさらに広がるきっかけの1つになりました。

坂口 海外にたくさん友だちができたこと。これが今、僕のモチベーションをすごく高めてくれています。海外に出ること視野も広がりましたね。

現在の、皆さんの夢は？

酒井 精神科医になって現場に出て、本当はどんなのかこの目で確かめたい。自分なりの視点で物事を捉え、制度や治療法など変えるべきところは変えるよう、働きかけていける医師になりたいです。

海外の友だちがモチベーションの源



さかくち ゆうや 坂口祐哉さん

宮崎大学工学部4年 電磁情報学研究室 (鹿児島県立加世田高校出身) 留学期間と留学先/2018年9月~2019年2月 ※9月~翌年1月は台湾の大葉大学で学び、2月はミャンマーの小学校で体育の教師としてインターン留学しながら、大学生に野球指導



野球を教えたミャンマー野球代表

伊良知 言語力はあった方がいいけれど、留学の必須条件ではないと思っています。以前読んだ本に、言葉ってコミュニケーションの4割程度だと書いてありました。つまり、半分以上は言葉がなくても通じるってことです。話せないからと気持ちが落ちていって、壁を感じて消極的になったりするんじゃないかな。

酒井 留学中、僕はずっとイタリア語オンリーの生活です。最初は話せなかったから、「話せないのに留学に来てるの？」って思われるんじゃない？なんて被害妄想になりました。ある程度勉強して、言葉覚えて行った方がいいかな...でも、実習やらアルバイトやら忙しく、実際そんな余裕なんてなかった！

坂口 まだ明確ではないけれど、まずはプログラミングを学んで仕事に生かしたいと思っています。やりたいことが今はとにかくいっぱい、どんどんチャレンジしたい。英語も中国語も勉強を続けて、広い世界で仕事がしたいです。

伊良知 以前は博士を目指していたけれど、今はビジネスの世界で勝負したいと考えています。研究者の気質を持ち合わせた、世界で働くビジネスマンがいてもいいかなと(笑)。ビジネスで世の中の課題を解決していけたらと思っています。



ボランティアの仲間と就労支援を受けている方でイベントに参加



さかい たくや 酒井拓也さん

宮崎大学医学部医学科6年 出身高校/愛知県立旭丘高校 研究分野/精神科医療制度について 留学期間と留学先/2018年4月~2019年3月、イタリアの「トリエステ精神保健局」でインターンシップ留学

偏らない視点とメンタリティーが一番の収穫

留学を通して“人脈”が広がった！



いらち しょうたろう 伊良知正太郎さん

宮崎大学修士課程2年(農学研究科) 水圏生物生理学研究室 (延暦寺学園比叡山高校(滋賀県)出身) 研究テーマ/「サーモンがなぜ海に下るのか」 留学期間と留学先/2017年12月~2018年12月、アメリカのマサチューセッツ州にある「マツコーミック研究所」へ研究留学



MITでの魚類の環境適応に関する講演

日本で1カ月かける内容も、海外なら2~3日で習得できました。だから行って3カ月は実習と平行して語学学校に通い、そこで頑張りました(笑)。でも言葉ができた方が、留学してすぐにやりたい勉強や研究に集中できるから有利だと思いますね。

坂口 研究留学だったら、言語は必須かな。僕のような研究目的でない留学は、現地で学びながらやれると思います。台湾では中国語、ミャンマーではビルマ語でしたが、日本語しかまともには話せない僕がミャンマーで野球の監督をしましたからね(笑)。



X線分光撮像衛星 XRISM

(C) JAXA

X線の色が区別できると物質が分かるようになる。宇宙の星から生まれた私たちについても明らかに!

日本で7番目のX線天文衛星「X線分光撮像衛星XRISM(クリズム)」の打ち上げが、2021年度に予定されている。宮崎大学工学部の3名の先生がXRISMに搭載されるX線CCDカメラの開発に携り、プロジェクトの中核を担っている。電子物理工学科の森浩二先生に、今回の打ち上げに対する期待と、科学の楽しさについて聞いた。

今まで打ち上げてきたX線天文衛星とはどんな違いがあるのだろうか。「今度上げる衛星は、今までで一番、X線の“色”を区別できるんです」。X線は、目には見えない、エネルギーの大きな光。このX線にも、私たちの目に見える可視光のように、波長(エネルギー)の違いがあって、それを色の違いと呼んでいる。

「宇宙で星が爆発して周囲のモノとぶつかり合うと、高温の熱が発生し、1千万℃ぐらいになるとX線も出ます。このとき、物質ごとに違う色のX線を出すので、色を鮮やかに見ることができると、物質が区別できるんです」と森先生。

そもそも、私たちの体は炭素や酸素とか窒素などの成分からできている。水素しかなかったという宇宙に星が生まれ、星の中で水素より重い物質が作られ、星が爆発することによってさまざまな成分が散らばっていった。つまり、私たちの体は、星の爆発と合成が繰り返されてつくられたもので、宇宙の物質について明らかになるということは、私たちの体のつくられ方についても明らかになるということである。

この衛星には2つの検出器が搭載される。1つは色を見る検出器。ただ、それは画角が小さく画像も粗いため、鮮明に見えないという。森先生たち宮崎大学チームは、それを補う、画角が大きく鮮明に撮影できるもう1つの検出器の開発に大きく貢献している。「国際的な協力体制でこのプロジェクトが動いています。この色を区別できる検出器は、X線天文学の世界を変えるもので、どのように研究が飛躍していくか、世界も注目しています。責任は重大ですが、やはり楽しみで仕方ないですね」。



宮崎大学 工学部 電子物理工学科 森 浩二 准教授

森先生から学生へのメッセージ

Message

私は物理、中でも宇宙で起こっている物理現象が面白いと感じていました。宇宙でこんなことが起こっているというのを物理という手段で考え、理解する瞬間が楽しいし、ゾクゾクする。その瞬間のために研究をやっているとも言えます。面白いと思えるものを見つけて、一生懸命取り組んでください。社会が多様化している中で、好きなことでないと、なかなか頑張れないのではないかと思います。最初は、自分が面白いと思えるものを探すことを頑張ってみてください。



宮崎大学がまる分かり!

宮大公式 YouTubeチャンネル Myaoh.TV

Myaoh.TVでPRしませんか?

Myaoh.TV

高評価 低評価 共有 オフライン 保存

Myaoh.TV オリジナルキャラクター みゃおう

ネタ募集中! myaoh.tv@gmail.com

学年・学科・氏名もお忘れなく!

宮崎大学オリジナル動画多数配信!!

2005年に生まれた「Myaoh.TV」。現在は宮大公式YouTubeチャンネルとして、宮崎大学を発信。学生さん持ち込み企画おしえて宮大生!や、料理撮影もすべて手掛ける「学生考案レシピ」動画など、人気コンテンツがいっぱいです。メディア企画室スタッフの中山さんは、「大学生の気持ちや頑張る姿」



メディア企画室スタッフ 中山 真紀

を伝えていきたいです。今後は医学部生の密着動画をつくりたいですね」と話します。撮影や編集、web、CG、テロップなどは、清水さん、横山さんが主に担当しています。動画を配信して嬉しかったのは「おしえて宮大生!」の動画を見て入学した学生さんがいたことです」と清水さん。これからも、面白い企画が続々とアップされるので、お楽しみに!

清武キャンパス内にあるマルチメディアスタジオ。背景は全面緑色。実写映像とCGを合成するバーチャル撮影という方法で撮影されていました。

インスタもやってるニャ!

myaoh.tv

Myaoh.TV オリジナルキャラクター みゃおう

タイプ別 おすすめ動画

一人暮らしだと得意な料理で自炊も楽しみ

大学生になったらサークルにも燃えるわよ~

キャンパスライフってどんな感じなのかな

宮崎大学ではどんなイベントがあるの?

情報量豊富! もの知りタイプ

宮崎を食べたい! 自炊グルメタイプ

サークル燃焼系! アクティブタイプ

事前に予習! 用意周到タイプ

宮大NEWS 毎月の宮大のニュースが約3分でまる分かり。オープンキャンパスのときにも取材に行きます!

野菜を食べるタルタルソース2種 学生考案「野菜を食べるタルタルソース」。朝食を食べない人や野菜不足の人にぜひ試してほしい簡単レシピ。

おしえて宮大生! ④「サークル体験レポ」 宮崎大学には個性的なサークルがたくさん! 体を張った体験レポは必見!

おしえて宮大生! ⑤「宮大生の1日に密着」 宮大生だいち君の1日に密着。おしえて宮大生シーズン2の人気作。男子学生の部屋にも潜入!



門川町のふるさと納税返礼品に
「門川の魚図鑑」を追加

宮崎大学では、県内各地の地域課題を解決するために県内自治体と連携事業を実施しており、その一つとして実施してきた「門川の魚図鑑」が3年の歳月を経て完成しました。門川町役場をはじめとする地域の方々の多大な協力を得ながら、農学部村瀬敦宣助教をはじめ延岡水産実験所において研究をしている宮崎大学生等が一つ一つ撮影し作成した地域に密着した図鑑となっております。



ふるさと納税に関する問合せ：
門川町役場まちづくり推進課 ☎0982-63-1140

第3回ビジネスプランコンテスト
「宮大生の新たな輝きに刮目せよ!」



■ 期間 2019年9月28日(土) 13:30~17:40

■ 場所 宮崎市民プラザ オルブライトホール

事前申込制 観覧無料



お問合せ先: ☎0985-58-7951
E-mail: busicon@of.miyazaki-u.ac.jp

Event

●日程等は今後変更になることがあります。詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/event-calendar.html>



みやぎき人権教育フォーラム2019

日時: 8/3(土) 13:00~16:20 宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター
場所: 創立330記念交流会館コンベンションホール ☎0985-58-5287

オープンキャンパス

日時: 8/9(金)~8/10(土) 10:00~16:00 学生支援部入試課
場所: 木花キャンパス、清武キャンパス(医学部は8月9日のみ開催) ☎0985-58-7138

公開講座 「話す」と「書く」とを豊かに
学生・社会人編

日時: 8/24(土)~8/25(日) 13:00~16:20 産学・地域連携課
場所: 教育学部 L412(教育学部棟 4階) ☎0985-58-7188

公開講座 医学部公開講座
「医療における最近の話題」

日時: 8/31(土) 13:00~15:40 産学・地域連携課
場所: まちなかキャンパス ☎0985-58-7188

延岡フィールド水族館2019
~大学生がつくるミニ水族館 in 宮大・延岡フィールド~

日時: 8/31(土)~9/8(日) 9:00~17:00(最終入館は16:30、9/3,4は休館日) 農学部・延岡フィールド
場所: 農学部・延岡フィールド ☎0982-37-0327

ブラックジャックセミナー

日時: 9/22(日) 11:00~16:00 医学部総務課
場所: 医学部講義実習棟2階207教室 ☎0985-85-9007

第15回清花祭

日時: 11/15(金)~11/17(日) 学生生活支援課
場所: 木花キャンパス、清武キャンパス ☎0985-58-7135

南九州の美味しい野菜を加工して
全国にお届けすることで、
地元の経済活性化に貢献したい。

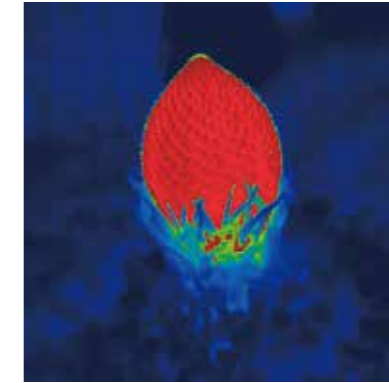
新サンフード工業株式会社 宮崎県宮崎市清武町木原 58 番地
TEL 0985-85-1121

※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

裸子植物ソテツの花が発熱するしくみの一端を解明

宮崎大学農学部植物生産環境科学科・稲葉靖子准教授の研究グループは、理化学研究所環境資源科学研究センター・豊岡公徳上級技師、九州大学大学院医学研究院・林哲也教授らの研究グループと共同で、日本の固有種として知られるソテツ(Cycas revoluta)の花の発熱を、世界で初めてサーモグラフィーで捉えることに成功しました。これまで、ソテツの花の発熱に関しては、よくわかっていませんでしたが、今回の研究により、ソテツの花が発熱するしくみの理解が飛躍的に進みました。今後、花の発熱を支えるしくみの理解が進めば、寒冷環境下における農作物の成長を促進したり、花における匂い成分の合成や飛散を助けたりする技術の開発につながる事が期待されます。この成果は、世界的な植物科学雑誌の一つであるPlant Physiology誌の2019年6月号(米国東部時

間2019年6月3日公開)にオンラインで掲載され、同雑誌の表紙を飾りました。また、当該論文は同雑誌6月号の「News and Views」で注目論文としてもハイライトされています。



宮崎大学で起こった出来事をご紹介します!
2019年4月~

農学部のロゴマークが決定しました

農学部が新しいロゴマークの募集を行ったところ、宮崎県内外から43件の応募があり、学部内で選考した新しいロゴマークを4月1日に発表しました。選考の理由は、太陽と海の上に、牛、植物の葉、フラスコの絵柄を配置しており、農学部の教育・研究を表すわかりやすさと、何より親しみやすさを感じる点です。今後、このロゴマークは、附属フィールド科学教育センターの農畜産物や農学部の研究成果が生かされた食品等にシールとして貼るほか、教職員・学生が農学部のPRのために使用することとしています。



しあわせの花「すずらん」のプレゼント

ANAグループの客室乗務員とスタッフが5月29日、医学部附属病院を訪れ「再び幸せが訪れる」などの花言葉をもつすずらんの花を入院中の子どもたちにプレゼントしました。今回贈呈したすずらんは、北海道の大地で栽培されたもので、心を込めて一つ一つを手作業で梱包されています。ANAグループが行うこの活動は1956年から続く社会貢献活動で、昨年度も届けていただいております。すずらんのさわやかな香りが入院中の方に喜ばれています。



実演や試食を交えて
「本物のブルーベリー」を学ぶ

6月1日、「宮崎大学まちなかカレッジ2019第1回「本物のブルーベリーを味わう」」を実施し、53名が受講しました。今回は、ブルーベリーの育て方について実演を交えて講義を行ったほか、キャンパス内にある実験圃場にてブルーベリー狩り体験を行い、受講者は多数の品種のブルーベリーを試食しながら、味の違いなどを楽しみました。また、受講者には大粒のブルーベリーができるラビットアイ系の雑種苗が提供され、実際に栽培に挑戦してもらうこととしています。



宮崎県立宮崎南高等学校と
連携協定を締結

6月5日、宮崎大学は宮崎南高等学校との「地域との協働による高等学校教育改革推進事業にかかる連携・協力に関する協定」の締結式を実施しました。内田信昭校長からは「宮崎大学と連携協定を締結できたことは非常にありがたい。宮崎への郷土愛を持った人材を育てることができるようにしたい」と期待が述べられ、池ノ上学長からは「全国で20校のみという状況で指定を受けたことは非常に嬉しい。今回の連携事業が成功することを期待している」と述べられました。



1st Anniversary



宮大ディスプレイ 1周年

宮大ディスプレイ使ってみませんか？

宮崎大学

MIYADAI DISPLAY(モニター広告)概要

- 視認範囲内歩行者 約6,500~7,500人/日・平均のべ約10,000人/日・ピーク
- M A X 視 認 者 学内7,754人(学部生4,614人、大学院生665人、留学生177人、教職員2,298人)
- タ ー ゲ ッ ト 学生、教職員、来学者(セミナーでは一般市民も来校)
- 学 生 男 女 比 男性65%、女性35%



※データはすべて2019年5月1日時点

画面サイズ	DISPLAY(ビジョン)画面 縦1.245m×横2.214m (16:9)(100inch)
ビジョン仕様	4面マルチ液晶ディスプレイ(Panasonic製)超狭額縁デザイン、IPSパネル、アンチリフレクション仕様
入力素材	動画 / 静止画
音 響	8cm防滴スピーカー(天井埋込)3W×4台
放映時間	9:00~17:00(8時間/日) ※土日祝日、メンテナンス日(約2ヶ月に1回)、12月29日から翌年の1月3日は除く ※地域デザイン様管理者が特に必要と認められたとき(学祭・イベント等)は、この限りではありません

使用料金(消費税抜き)	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	半年	年間
1分間/時間	10,000円	20,000円	30,000円	60,000円	110,000円
3分間/時間	30,000円	60,000円	90,000円	180,000円	330,000円

※宮崎大学医学部食堂でも放映されています。

お問い合わせ：地域デザイン講座 TEL 0985-58-7884

(2019年7月31日現在)

あなたのスマホに、ATMを。

J-Coin Pay

銀行の枠をこえた
新しいキャッシュレス、
はじまる。

明日の夢 人からへ
宮崎銀行

飲み会の
割り勘が
スマホで
スムーズ!

QRコードで
お財布なしの
ササッと会計!

送るも
もらうも、
自由自在!

すべて手数料0円
\ 今すぐダウンロード /

詳しくはこちら
Jコインペイ

App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

※J-Coin Payは、みずほ銀行が提供するスマホ決済アプリです。連携する金融機関の預金口座保有者は個人間の送金や店舗での決済、キャッシュアウト等のサービスが利用できます。
※AppleおよびGoogle Playは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLCの商標です。※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。※アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信費用が必要です。

※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。



宮崎大学公式フェイスブック

みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。



Myaoh.TV

公式Youtubeチャンネルで宮大がわかる動画が500本以上!

宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2019 vol.32 [発行日]令和元年7月31日

http://www.miyazaki-u.ac.jp/

[編集発行]国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985)58-7114

本誌を読んでものご感想などご自由にメールでお寄せ下さい。kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方々を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。

バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。



大豆油を主成分としたインキを使用しています。

*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。